

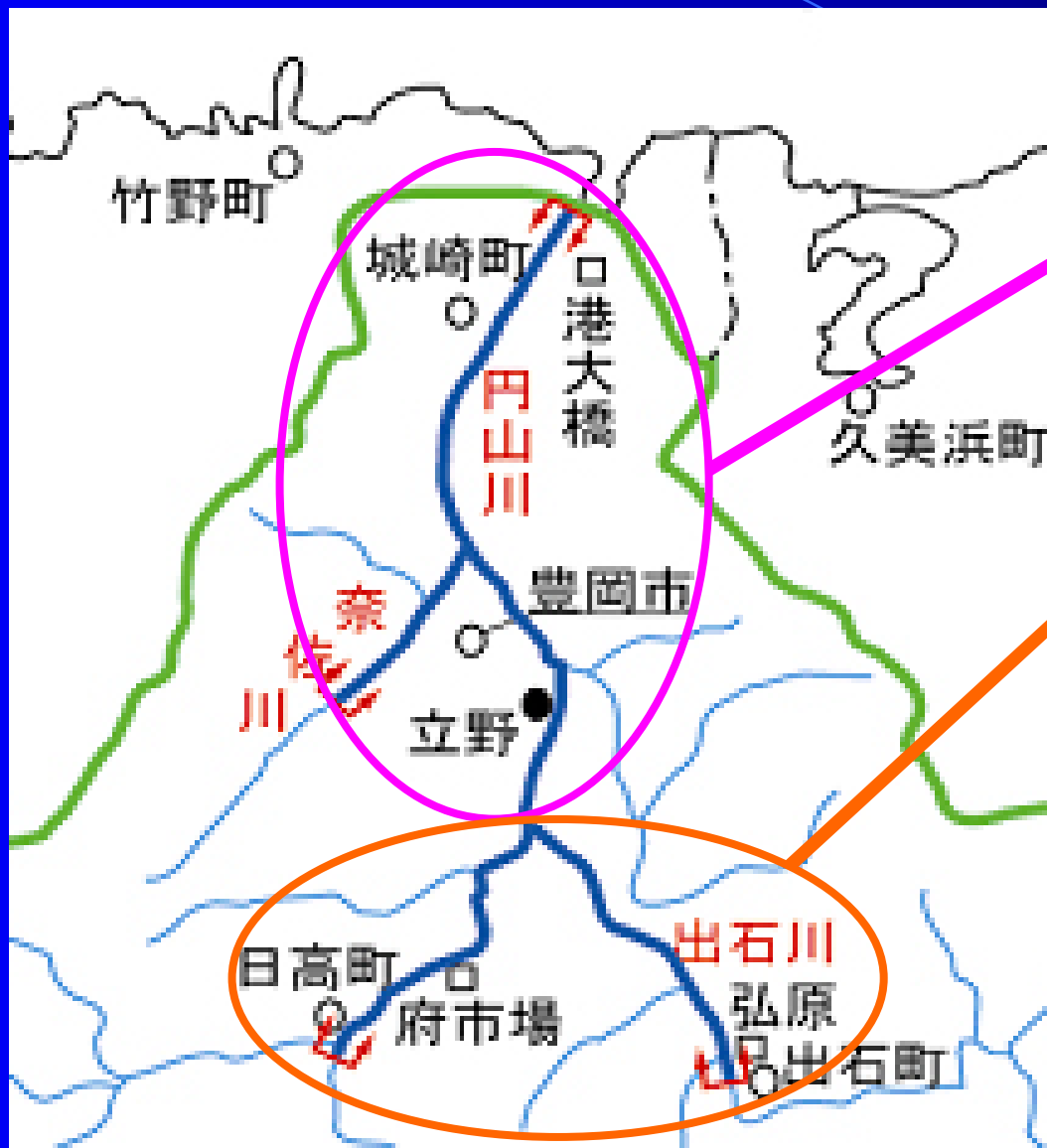
# 現地視察候補箇所

( 庶務案 )

# 現地視察候補箇所(庶務案)

26箇所27地点

1. 円山川河口
2. 城崎樋門・排水機場
3. 左岸側無堤地区
4. ひのそ島
5. 玄武洞周辺
6. 下鶴井のヨシ原
7. 奈佐川
8. 一日市排水機場
9. 軟弱地盤
10. 一日市島
11. 北近畿タンゴ鉄道橋
12. 六方川内水対策
  - 12-1 六方排水機場
  - 12-2 小野川放水路
13. コウノトリ
14. 円山大橋
15. 豊岡市上水道施設
16. 八代水門・八代排水機場
17. 円山川防災ステーション
18. 蓼川井堰
19. 上ノ郷地区
20. 鶴岡橋
21. 日置橋付近
22. 浅倉、赤崎地区
23. 出石川の改修
24. 新田井堰
25. 出石川の桜つづみ
26. 谷山川放水路



**直轄区間下流域  
(城崎・豊岡方面)**

**直轄区間上流域  
(日高・出石方面)**

凡例	
	主要地点
	基準地点
	主要山岳
	県境
	流域界
	直轄管理区間

# 直轄区間下流域 (城崎・豊岡方面)

円山川

【河口から出石川との合流点まで】

奈佐川

【円山川との合流点から4.1kまで】

# 直轄区間下流域(城崎・豊岡方面)



1. 円山川河口
2. 城崎樋門・排水機場
3. 左岸側無堤地区
4. ひのそ島
5. 玄武洞周辺
6. 下鶴井のヨシ原
7. 奈佐川
8. 一日市排水機場
9. 軟弱地盤
10. 一日市島
11. 北近畿タンゴ鉄道橋
12. 六方川内水対策  
(六方排水機場)
13. コウノトリ
14. 円山大橋

# 1. 円山川河口

景観



気比の浜



## 2. 城崎樋門・排水機場

事業

治水

円山川の下流に位置する城崎温泉は、歴史も古く、我が国を代表する温泉の一つです。



城崎温泉街



台風23号により浸水した城崎温泉街  
(昭和40年9月)

しかし、城崎地区は地盤が低く、しばしば洪水により、内水被害を受けていました。

# 城崎樋門・排水機場

事業

治水

大谿川の内水排除を目的として、城崎樋門と排水機場が設けられています。





### 3. 左岸側無堤地区

治水

円山川には堤防が整備されていないところがあり、出水時には、越水の危険性もあります。



左岸側無堤地区



豊岡・港線での溢水状況  
(H2.9月洪水、奈佐小橋付近)

## 4. ひのそ島

事業

環境

治水

円山川の河口からおよそ6kmに位置する中州。



# 環境面からみたひのそ島



ミクリ



タコノアシ



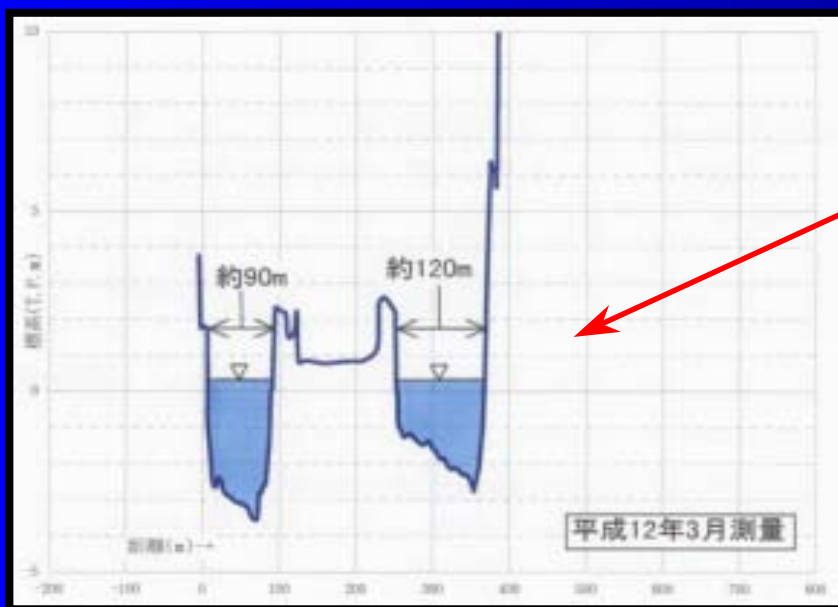
ホソバイヌダテ



シッチコモリグモ

# 治水面から見たひのそ島

ひのそ島は円山川の河道断面の約半分近くを占め、洪水の流下の妨げとなっています。



現在、島の約半分を掘削し、水の流れを良くすることで、上流の水位低減を図るための工事が実施されています。

## 5. 玄武洞周辺

環境

景観

玄武洞は、国の天然記念物に指定されており、円山川周辺の最も重要な文化財の一つである。



## 6. 下鶴井のヨシ原

環境

景観

玄武洞から下鶴井の水門にかけて広がるヨシ原は、幅およそ500m、長さ2kmの大きさがあります。

下流より上流を望む



下鶴井のヨシ原



琵琶湖の西の湖、淀川の鶺鴒殿、宇治川の向島のヨシ原とならぶ近畿有数のものです。

## 7. 奈佐川(福田樋門付近)

治水

S34.9洪水(伊勢湾台風)により、奈佐川(福田樋門付近)において、堤防が決壊し、甚大な被害が生じました。



森津橋より上流を望む



浸水実績図(昭和34年9月)

## 8. 一日市排水機場

治水

豊岡市北部の内水被害を軽減することを目的として、昭和39年に一日市排水機場が建設されました。



施設老朽化に伴い、排水能力が低下し、 湛水による被害が増大していたため、県営湛水防除事業として、排水機場が新設されました。



## 9. 軟弱地盤 (左岸側9.0k ~ 12.0k付近)

事業

治水

この付近は、軟弱地盤のため、場所によっては1年に約1cm地盤沈下が生じています。そのため築堤を行っても数十年後には堤防が数十cm沈下している箇所もあります。



年間地盤沈下等量線図

# 10. 一日市島

環境

治水

景観

円山川の河口からおよそ11kmに位置する中州



貴重種としてタコノアシ、マツカサススキ等が確認されており、円山川の良好な自然を保っています。

# 11. 北近畿タンゴ鉄道橋

治水

橋梁桁下不足のため洪水時には危険な状況になり、周辺住民より橋梁架け替えの要望もあります。



S62.9出水時状況写真

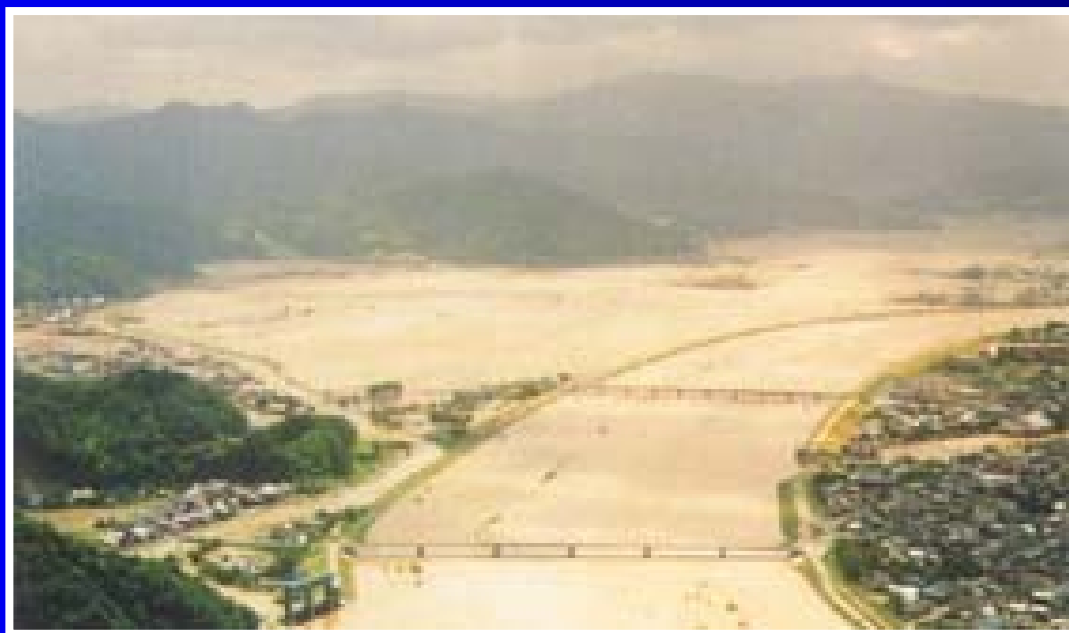


## 12. 六方川内水対策

事業

治水

円山川の支川である六方川では、昭和21～36年にかけて、堤防の築造や排水機場の建設が進められてきましたが、昭和34年9月の伊勢湾台風をはじめ何度も内水被害を受けています。



出水状況  
六方平野(上)と  
豊岡市街(下)  
(平成2年9月)

六方地域の内水被害の抜本的な解決のため、小野川放水路と六方排水機場の建設が行われました。

# 12-1. 小野川放水路

事業

治水

六方川上流(小野川)に袴狭川・入佐川を合わせて出石川への放水路を建設し、洪水時に六方川流域の1/4の山水を直接出石川へ放流することにより、浸水被害の軽減を図っています。



位置的には、直轄下流域に含まれます。

## 12-2. 六方排水機場

事業

治水

洪水時に円山川からの逆流を防ぐため六方水門を閉め、小野川放水路の残流域の3/4の洪水をポンプで排水し、六方平野の浸水被害軽減を図ることができます。



六方水門  
(昭和52年完成)



六方排水機場  
(平成13年完成)

# 13. コウノトリ(六方たんぼ・出石川)

環境

景観

円山川流域では昔、特別天然記念物のコウノトリが飛び回っていた。特に、六方たんぼ・出石川では多く、生息していたと言われています。



## 兵庫県立コウノトリの郷公園 (豊岡市祥雲寺)

- ・野生化に向けての科学的研究及び実験的試み
- ・人と自然の共生できる地域環境の創造に向けての普及
- ・コウノトリの種の保存と遺伝的管理

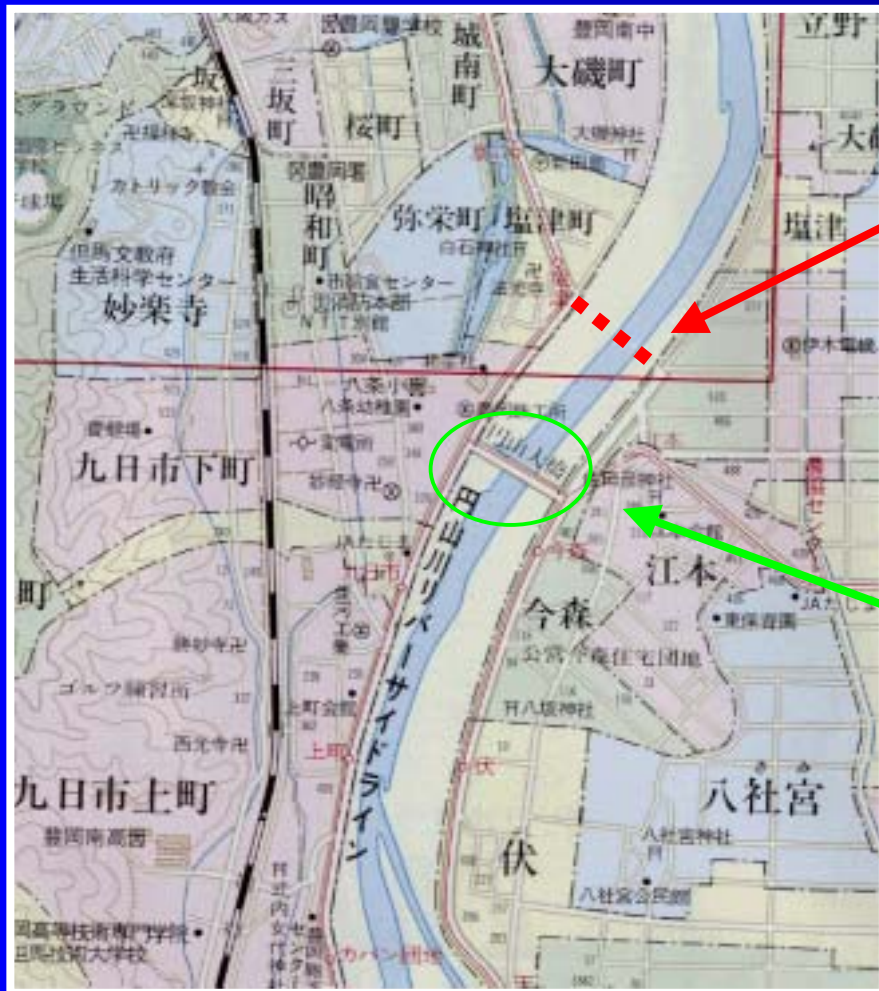


# 14. 円山大橋

事業

治水

以前、円山大橋は、現在の位置よりも600m下流にあった。





# 円山大橋周辺

この付近では、平成2年9月の洪水時、越水の恐れがありました  
(右岸江本地区)。

## 平成2年9月出水時の状況



しかしながら、懸命の水防活動により、越水の危機を免れました。

# 円山大橋周辺



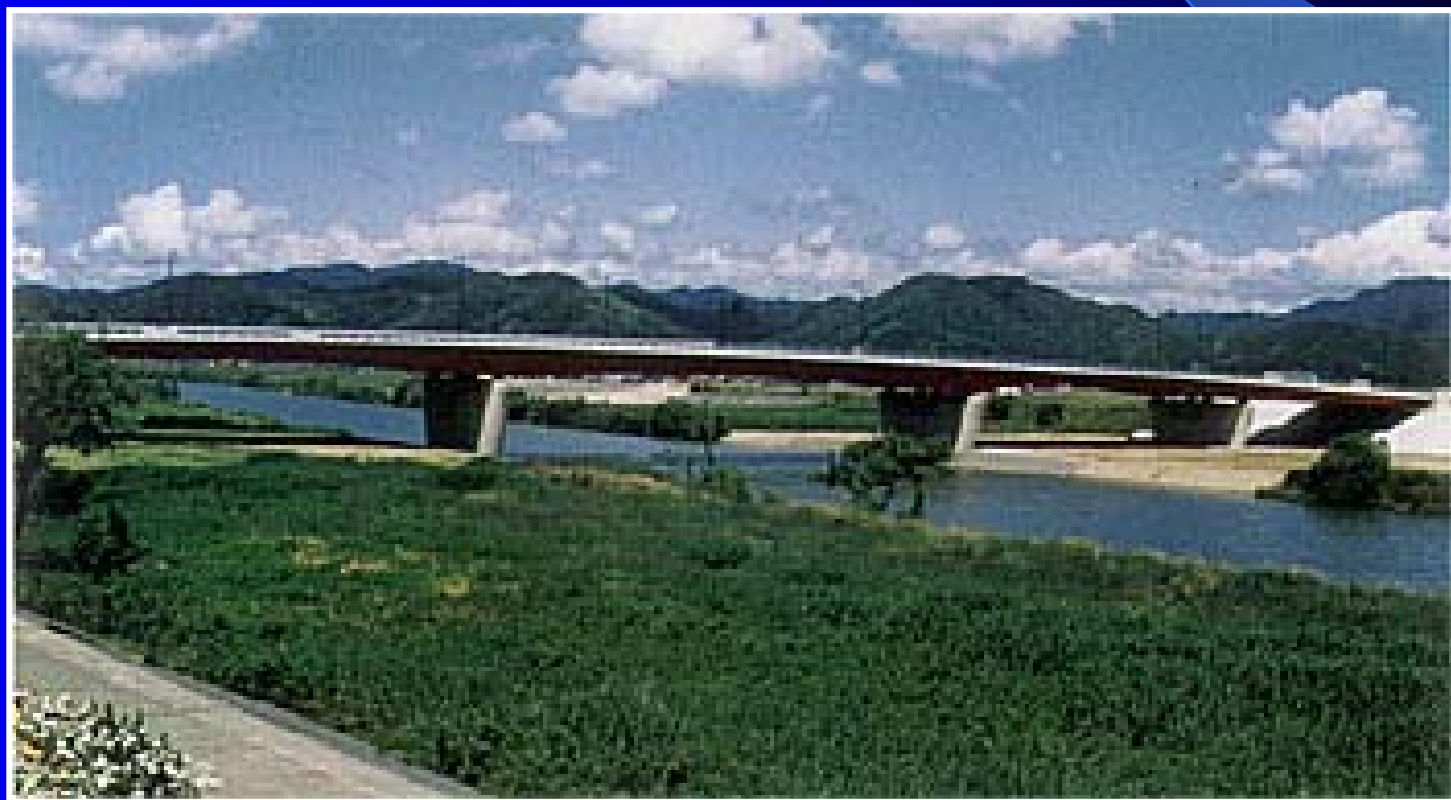
緊急対策工事

平成2年9月19日



# 円山大橋架け替え

洪水の流れに著しい影響を与えている円山大橋は、十分な流下能力が得られる安全な橋に架け替えられました。  
(特定構造物改築事業)。



# 直轄区間上流域 (日高・出石方面)

円山川

【出石川との合流点から27.7kまで】

出石川

【円山川との合流点から8.7kまで】

# 直轄区間上流域

- 15. 豊岡市上水道施設
- 16. 八代水門・八代排水機場
- 17. 円山川防災ステーション
- 18. 蓼川井堰
- 19. 上ノ郷地区
- 20. 鶴岡橋
- 21. 日置橋付近(23～25k付近)
- 22. 浅倉、赤崎地区
- 23. 出石川の改修
- 24. 新田井堰
- 25. 出石川の桜つつみ
- 26. 谷山川放水路

+

- 12. 六方内水対策(小野川放水路)

# 直轄区間上流域



# 15. 豊岡市上水道施設

利水

豊岡市の上水道では、一部円山川から取水を行っています。



平成6年渇水時には、塩水がこの付近まで遡上したため簡易堰を作り、対応を行いました。

# 16. 八代水門、八代排水機場

事業

治水

平成2年9月洪水では、円山川の水位が上昇し、八代川からの自然排水が不可能となり、内水被害が生じました。



八代水門

八代川流域の内水対策として、円山川との合流点の約2km上流にショートカットの八代川放水路を建設しました。  
(平成4年完成)



# 八代排水機場(平成11年4月完成)

事業

治水

八代川流域の内水対策として、合流点に4m<sup>3</sup>/sの排水能力を持つ八代排水機場を建設しました。



八代排水機場では、水中モーターポンプ方式を採用したことや、堤防天端から放流する計画としたことで、コンパクト化・設備の簡易化を図っています。

# 17. 円山川防災ステーション

事業

治水

円山川では、防災活動の拠点として防災ステーションを設け、台風などによる洪水の非常時に以下のような目的で使用します。

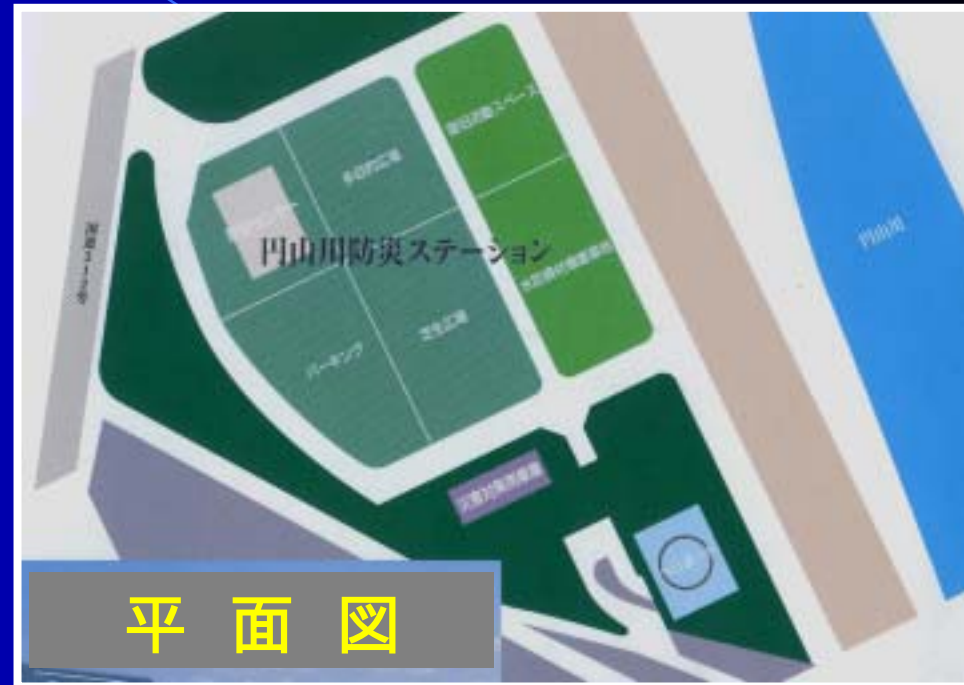
1. 救援資材の備蓄基地
2. 救援活動基地
3. 被災者の避難場所
4. 情報提供
5. 災害対策用車両の基地

# 円山川防災ステーション

平常時は、芝生広場や多目的広場を開放し、地域住民のレクリエーションの場所となっています。



円山川防災センター



平面図

# 18. 蓼川井堰

利水



八代川付近と上ノ郷付近の灌漑用水として蓼川井堰で円山川の流水を堰き止め、取水しています。



# 19. 上ノ郷地区

環境

景観

上ノ郷地区には、エノキやケヤキなどによる近畿地方有数の規模の河畔林が残っています。



## 20. 鶴岡橋

治水

鶴岡橋は、日高町と出石町を結ぶ重要な橋梁である。



平成2年9月出水時

しかし、桁下不足により洪水の流下を妨げる要因となっている。  
また、老朽化が進んでいるため、改築の必要性も考えられます。

## 21. 日置橋付近 (23 ~ 25k 付近)

治水



この付近は、川幅が狭く、特殊堤により、背後地の日置地区の集落を守っています。

## 22. 浅倉、赤崎地区

事業

治水

浅倉・赤崎地区は、円山川・稲葉川共に無堤箇所が多く、平成2年9月洪水の時は、浸水被害に悩まされました。

### S34.9洪水の状況

赤崎橋



現在、築堤工事が進められています。





## 23. 出石川の改修

事業

治水

小野川放水路や兵庫県が整備した谷山川放水路による流量増に対応した堤防の嵩上げ、拡幅、橋梁付け替えを行っています。



出石川の河道内では、ホソバイヌタデ、タコノアシなどの貴重種も確認されています。

# 24. 新田井堰

利水

出石川の下流部に位置する新田井堰は、六方平野の灌漑用水取水のために設置されています。



# 25. 出石川の桜つつみ

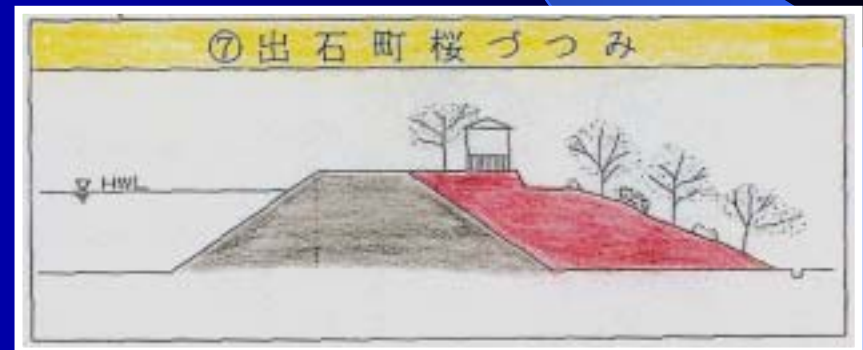
事業

治水

景観

## 桜つつみ

豊岡市土淵・日高町西芝・出石町弘原の3箇所で、堤防の緑化を推進し、地域社会の憩いの場となる「桜つつみモデル事業」を実施しています。



堤防の背面に盛土を行い、桜等の植樹を行っています。

# 出石川の桜つつみ

桜を植える部分の堤防が通常の堤防より広くなるため堤防強化が図れます。また、桜つつみは災害時には樹木の伐採や土砂の採取を行い、水防活動資材として活用します。



また、桜の植樹により潤いのある空間が創出され、地域住民のやすらぎ、ふれあいの場となっています。

## 26. 谷山川放水路

治水

河積が狭く勾配が緩やかなため、度重なる水害を引き起こしてきた谷山川の治水対策として、トンネル河川による谷山川放水路が建設されました(兵庫県事業)。



S54台風20号の出水状況

